



株式会社舞浜リゾートライン セーフティレポート 2025

■ トップメッセージ	1
■ 輸送の安全に関する基本的な考え方	2
■ 輸送の安全に関する取り組み	3~13
■ 事故等の発生状況	14
■ 安全にご利用いただくために	15~16

株式会社舞浜リゾートライン
代表取締役社長
東樹 秀明



いつもディズニーリゾートラインをご利用いただき、誠にありがとうございます。

2024年度は、東京ディズニーシー® 8つ目のテーマポート「ファンタジースプリングス」の開業を記念したラッピングモノレールを運行したほか、スタンプラリーの開催や、さまざまなデザインのフリーきっぷの販売により、多くのゲストのみなさまをお迎えすることができました。

また、2001年7月に運行を開始した「リゾートライナー (Type X)」が、9月1日に惜しまれつつ引退し、いよいよ「リゾートライナー (Type C)」に統一されました。

輸送の安全への取り組みでは、策定した「2024中期経営計画」に基づき、リゾートゲートウェイ・ステーション大規模改修工事が、2025年度末の完了を目指して進行中のほか、新しい出改札システムの導入に向けた準備として、各駅の自動改札機の通路幅を広げる工事や、一部の駅では自動改札機の増設等を行いました。このほか、新たな防犯システムの運用開始など、ゲストの安全と安定運行の確保に努めてまいりました。

一方で、2024年4月に発生した地絡停電による運転見合わせを受け、関係各所への情報一斉共有ツールの導入や異常時訓練にて同事象の復旧訓練を行いました。また、リスクアセスメントの取り組みを継続するとともに、各職場においては、危険予知 (KY) 活動を推進するなど、リスクに対する感度をさらに高めるための教育と訓練の機会を積極的に設け、安全目標の達成にむけて活動してまいりました。

こうした安全に対する取り組みにより、2024年度の安全目標である「有責事故0件」「有責輸送障害0件」を達成することができました。

これからも、ゲストのみなさまが安全・安心・快適にご利用いただけるよう、全社員が一丸となって取り組んでまいります。

この「セーフティレポート2025」は、鉄道事業法第19条の4に基づく安全報告書として、2024年度における当社の安全に対する取り組みなどについてご紹介し、広くご理解いただくために作成、公表いたしました。ぜひお読みいただき、みなさまの忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



このコーポレートマークは、モノレールを想起させるかたちと5つのカラーで構成されています。
色はそれぞれ
「グリーン=安心安全」「パープル=創造力」「ブルー=信頼」
「ピンク=幸福感」「イエロー=好奇心」
を意味し、常に私たちが大切にしている要素を表しています。

輸送の安全に関する基本的な考え方

安全基本方針・行動規範

当社では、輸送の安全に関する基本的な考え方として、3項目の安全基本方針を定めています。また、この安全基本方針がより具体的な行動に結びつくよう、7項目の行動規範を定めています。

安全 基本方針

私たちは法令を遵守し、安全を最優先する企業文化を築きます。

私たちは安全を確保する能力を高め続けます。

私たちは安全を確保する体制・設備・手順を維持向上させます。

安全 行動規範

1. 法令や規則を理解しこれを遵守する。
2. 幅広く収集したリスク情報に的確な処置を行い、事故や災害の未然防止に努める。
3. 複数の事項を対処する場合は、安全に関わる事項を優先する。
4. 発生している状況を具体的に把握し、迅速かつ正確に報告する。
5. 異常・緊急時に判断に迷いがある場合は、最も安全と認める取扱いをする。
6. 事故や災害が発生した際は、人命救助を最優先する。
7. 安全をより高めるために必要な事項を改善し続ける。

PDCAサイクル

輸送の安全を確保するためには、Plan（計画）、Do（実行）、Check（チェック）、Act（改善）の体制（PDCAサイクル）を確実に機能させる必要があります。

当社では、安全基本方針に基づき定めた安全目標や取組計画を実行しつつ、安全に対する検討および研究を継続し、さらに内部監査を実施することにより、安全活動のチェック、見直し、改善に向けた取り組みを行っています。

社長以下全キャストが一丸となって安全管理体制の確立に努めています。



次のページからは、PDCAサイクルに沿った、当社の輸送の安全に関する取り組みを、2024年度の活動を中心にご紹介します。

当社では安全基本方針や中期経営計画等に基づき、毎年度、輸送の安全の確保に関する目標と必要な取組計画について設定しています。

2024年度は、次のとおりとしました。

2024年度 安全目標

有責事故 0件
有責輸送障害 0件

2024年度 取組計画

1. 輸送安全・事故防止

- ・ 現場からの情報収集を徹底し、事故・労働災害を起こさせない組織風土を維持継続するため、安全活動の実践およびフィードバックを実施する。
- ・ 輸送障害発生時の早期復旧に向けて、実践的な知識・技能を習得させ、対応レベルの向上に向け、評価指標に基づく訓練の継続実施および訓練メニューの適宜見直しを実施する。

2. 防火・防災

- ・ 定期的な訓練計画のもと、防火防災訓練の実施体制を強化し、PDCAを確実に機能させる。
- ・ 遭遇する懸念のある自然災害の種別と程度を把握し、最新の知見をもとに防災計画および関連マニュアルの見直しおよび整備を推進、組織的に浸透を図るとともに、内発的なマニュアルの見直しができる状態である。

3. 防犯

- ・ 当社および周辺施設で発生した事案に対しても、関係会社が横断的に即応できる体制整備と対応力強化に向けた取り組みの実施。

D

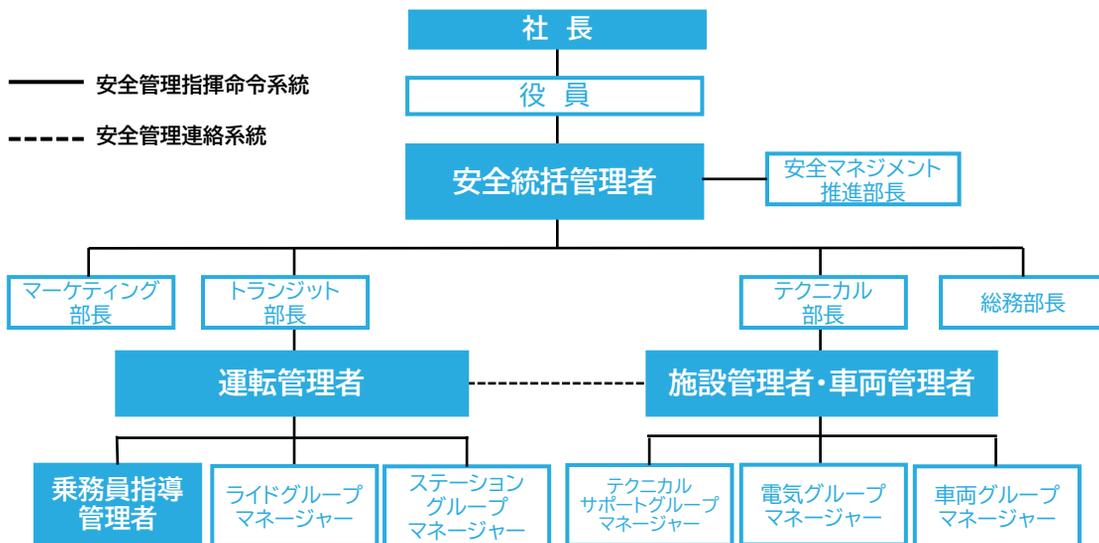
安全管理体制

安全管理規程

安全管理規程は、2006年10月に一部改正された鉄道事業法に基づき制定したものです。安全に関する基本的な方針や安全管理体制、管理方法のほか、社長や安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務などを定めています。

安全管理体制図

安全管理規程で定める安全管理の体制は次のとおりです。



おもな管理者とその責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

D

輸送の安全に関する会議

■ 輸送安全対策会

年間計画に基づいて、毎月1回開催される「輸送安全対策会」は、安全統括管理者を議長とし、運転管理者、施設管理者、車両管理者、乗務員指導管理者、その他必要に応じて関係部門長およびマネージャーが出席します。

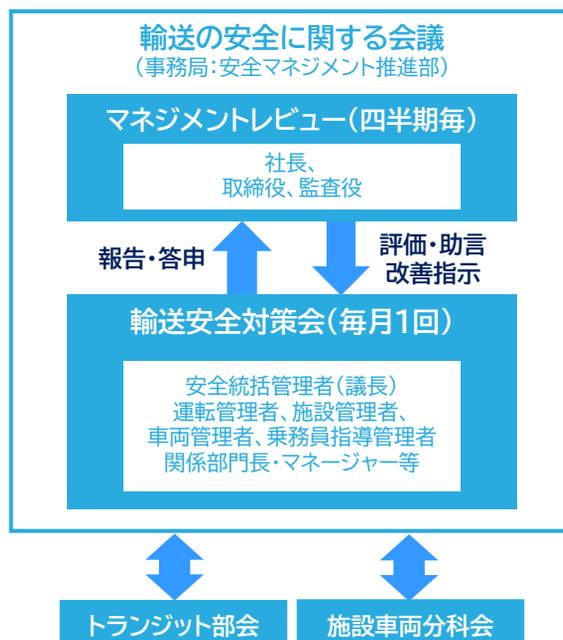
ここでは、当社および他社で発生した事故・トラブル等の報告と再発防止策の検討、中期的な視野のもと輸送安全に関わる事案の研究を行っています。また定期的に実施する全体訓練（異常時総合訓練）の計画案の作成や、訓練実施後の検証も行っています。

この会議で話し合われた内容は、開催の都度、関係者へ報告されます。

■ マネジメントレビュー

四半期に一度開催される「マネジメントレビュー」は、安全統括管理者を議長とし、「輸送安全対策会」の出席者に加え、社長や取締役、監査役も出席します。

ここでは、安全管理体制の実施状況および輸送安全対策会での調査審議事項を社長に報告・答申し、その有効性の評価と助言を受けるとともに、社長は必要に応じて改善を指示します。



D

安全確保のための取り組み

■ 異常時の取扱い

ディズニーリゾートラインでは、ドライバーレス自動運転を採用しています。

そのため、車両トラブルなどの異常時にあっても、駅間での停止を極力回避したいという考えから、安全が確保されれば、次の駅まで運転可能なシステムとしています。

しかし、何らかの理由で自動運転が不可能となった場合は、運輸指令の指示により、ドライバー（運転士）がリゾートライナーへ乗り込み、手動運転が可能かどうかを確認します。

ドライバーによる確認の結果、運転が不可能だった場合は、次の方法によりゲストを救出します。

救援列車 による方法

故障した列車と、その前または後ろの列車とを、ドライバーによる手動運転で連結させます。その後、最寄り駅まで運転する方法です。

はしご車 による方法

当社が所有するはしご車を使って、駅間で停止した列車内のゲストを救出する方法です。

昇降階段等 による方法

直接地上側に降車できる区間の場合は、車内と地上との間に昇降階段（またはわたり板）を架設し、列車内のゲストを救出する方法です。

また、次のような方法でリゾートライナーを次の駅まで運転し、ゲストを救出する場合があります。

非常電源装置 による方法

電力会社からの受電が停止するなどして停電が発生し、駅間に列車が停止した場合、変電所に併設する非常電源装置を起動させ、その電力を利用して、列車を次の駅まで運転する方法です。

万が一の事態に備え、ドライバーは社内規定に基づき、定期的な手動運転訓練を行っています。また各部門では、上記救出方法に用いる装置等の取扱いトレーニングを定期的に行っています。



■ 異常時訓練

当社では、運行トラブルが起きた時の早期復旧に向けて、実践的な知識・技能を習得し、対応力のレベルアップを図ることを目指し、訓練メニューを「個別訓練」「机上訓練」「全体訓練（異常時総合訓練）」の3段階で構成しています。このうち全体訓練は、個別訓練や机上訓練の総まとめとして、全社的に行うものです。

個別訓練	各部・各グループの訓練をベースとして実施し、必要な手順や重点事項の理解を促進させる	
机上訓練	対策本部や後方支援など、個別訓練ではイメージしにくい活動の理解促進を図るとともに、全体訓練の事前周知として活用する	
全体訓練 (異常時総合訓練)	個別訓練や机上訓練のまとめとして、過去の発生事例や発生頻度の上昇が予見される事象の中から、実施項目を選定し実施する	

2024年度に実施した全体訓練は次のとおりです。

◆はしご車によるゲスト救出訓練（2024年5月）

営業運転が終わった夜間の線路を使い、駅間で停止した列車からゲストを救出するとの想定で、当社所有のはしご車を据え付ける訓練を行いました。



◆救援列車による故障列車の収容訓練（2024年11月）

営業運転が終わった夜間の線路を使い、本線上で車両故障が発生したとの想定で、地上からのドライバーの送り込み、救援列車と故障列車の併結、最寄駅までの非常運転といった対応手順に従って訓練を行いました。



◆直流地絡停電を想定した対応訓練（2025年2月）

営業運転が終わった夜間の線路を使い、直流地絡による電車線停電が発生したとの想定で、停電復旧と駅間で停止した列車の最寄駅までの運転といった対応手順に従って訓練を行いました。



これら全体訓練のほか、部門ごとでの定期的に行う個別訓練などで、異常時における習熟度と対応能力の向上を図っています。

■ 災害マニュアルの整備

地震、台風などの強風、降雪といった自然災害に対する各種マニュアルを整備するとともに、必要に応じて見直しを図っています。

2024年度は、「地震対応マニュアル」について、2024年8月に発表された「南海トラフ地震臨時情報」を受けて、対策本部設置要件を一部改正しました。この他、「降雪時対応マニュアル」や各駅の消防計画を改正しました。

■ 災害時の取扱い

当社では、地震や強風等に備えた観測機器を設置しており、その計測データを中央指令室内の「気象観測装置」を通して常に監視しています。この数値が規制値を超えた場合、リゾートライナーの運転を制限します。

地震時の取扱い

当社設置の震度計が震度4以上の揺れを計測した場合、運行中のリゾートライナーを一旦停止させます。揺れが収まった後、

- 震度4の場合、ゆっくりした速度で安全確認した後、異常がなければ運転を再開します
- 震度5弱以上の場合、地上からの線路点検を行った後、ゆっくりした速度で安全確認を行い、異常がなければ運転を再開します

このほか、緊急地震速報システムにより警報を受信した場合は、事前にリゾートライナーの運転を見合わせたり、緊急停止させたりします。

強風時の取扱い

当社設置の風向風速計で計測された平均風速が20m/sを超えた場合、リゾートライナーの速度を落として運転します。同じく平均風速が25m/sを超えた場合、リゾートライナーの運転を見合わせます。

台風接近時や降雪時など、安全確保のため、リゾートライナーの運転を計画的に見合わせる、いわゆる「計画運休」を行う場合があります。

計画運休や運転見合わせを行う際に、多言語での情報提供を目的としたデジタルサイネージによる表示を、2023年2月から運用を開始しています。（各駅の自動券売機上部のモニターに表示）

悪天候により、明日10:00以降の
運転を見合わせます。

Operation will be suspended from 10:00 a.m. tomorrow
due to inclement weather.

由于恶劣天气，列车将于明日10:00起暂停运行。

악천후로 인해 내일 10:00 이후 운전을 중단합니다.

因天候不佳影響，明日10:00以後暫停行駛。

株式会社 観光リゾートライン

強風のため、
運転を見合わせています。

Operation suspended due to strong wind.

由于大风，目前列车暂停运行。

강풍으로 인해 운전을 중단하고 있습니다.

因強風影響，現正暫停行駛。

株式会社 観光リゾートライン

デジタルサイネージの表示例

■ 防火・防災訓練

4つの駅と本社棟において、地震や火災を想定し、自衛消防活動の動きを確認するための自主防火・防災訓練を定期的に行っています。



■ 鉄道テロ・事件に対する備え

鉄道テロや事件の未然防止のため、私服勤務の駅係員や本社社員が「特別警戒中」の腕章を着け、駅構内やモノレール車内の巡回に取り組んでいます。



2025年2月に国土交通省の「鉄道テロへの対策ガイドライン」が一部改正され、列車内への危険品持ち込み規制が強化されたことを受け、当社の旅客営業規則を改正したほか、当社のウェブサイトに、持ち込みが禁止されている物を掲載しています。

このほか、駅のホームやコンコースにあるデジタルサイネージでは、国土交通省作成の注意喚起ポスターを掲示しています。



■ 防犯訓練

モノレール車内で傷害事件が発生したとの想定で、現場キャストのロールプレイングによる訓練と、管理者とのディスカッションを実施しました。



■ 安全文化・安全教育

当社キャストの安全に対する意識の向上を目的とした社内向けイベントとして2025年2月から3月にかけて、「あんぜんフェア2025」を開催しました。

このイベントでは、輸送安全、気象防災、防犯の分野から専門家をお招きし、それぞれの安全に関する講演や研修を行っていただきました。

鉄道事故「出前講座」

運輸安全委員会の鉄道事故調査官2名をお招きし、過去の鉄道事故調査から、鉄道の安全についてご講演いただきました。



コミュニケーションエラーの防止

公益財団法人鉄道総合技術研究所の中村竜氏、藤道宗人氏をお招きし、コミュニケーションエラーを防止するための確認会話に関する研修を行っていただきました。



気象・防災「出前講座」

一般社団法人日本気象予報士会千葉支部の吉田晃雄氏をお招きし、近年千葉県内で発生した事例をもとに、気象災害から身を守るための防災講座をご講演いただきました。



防犯講話

千葉県警察本部 よくし隊「あおぼーし」の皆さんをお招きし、不審者対応などの講話のほか、実際に体を動かしての簡単な護身術をレクチャーしていただきました。



■ 安全運行を支えるシステム

ディズニーリゾートラインでは、自動列車運転装置（ATO）によるドライバーレス運転を行っています。これを支えるため、信号システムには保安度の高い自動列車制御装置（ATC）を導入するとともに、各駅のホームには、列車との接触や転落防止のためのホームドアを設置しています。

なお、ディズニーリゾートラインのドライバーレス運転は、一般の無人運転とは異なり、列車の最後部にコンダクター（車掌）が乗務しています。コンダクターは、ゲストのみなさまへのご案内やドアの開閉、車内のモニター、さらに異常時の避難誘導等を柔軟に対応出来るように訓練をしています。

このほか、列車の運行を総合的に管理する列車運行総合制御装置（TTC）や、機器の状態が把握できる車両モニタ装置の搭載等により、安全確保を図っています。

■ 安全運行を支えるキャスト

ディズニーリゾートラインの安全運行は、システムのみならず、テクニカル部門とトランジット部門それぞれのキャストが互いに連携を取り、各々が役割を完遂することで支え合っています。

キャストは、危険予知トレーニング（KYT）や定期的を実施する教育・訓練等によって、迅速で的確な対応が取れるよう、自ら積極的な意識付けに取り組んでいます。

C

運輸安全マネジメント制度に係る内部監査の実施

運輸安全マネジメント制度にかかる内部監査は、輸送の安全の確保のため、当社の安全管理体制が適切に機能しているかを確認し、問題点や課題を見つけ出すために行うもので、安全マネジメント推進部が中心となって、各部から選出される内部監査人により年1回実施しています。

2024年度の内部監査は、

- ・ 「事故・ヒヤリハット情報の収集・活用」、 「記録の作成及び維持」 の適合性・有効性の確認
- ・ 企業リスク対応や地震対応に関する教育訓練の実施状況

等について、経営トップや関係者へのインタビュー、現場でのオペレーション実査などを通して確認、その監査結果を、社長および安全統括管理者へ報告しました。

この監査結果をもとに、継続的な業務の見直しを行うとともに、安全管理体制の維持向上を図っていきます。

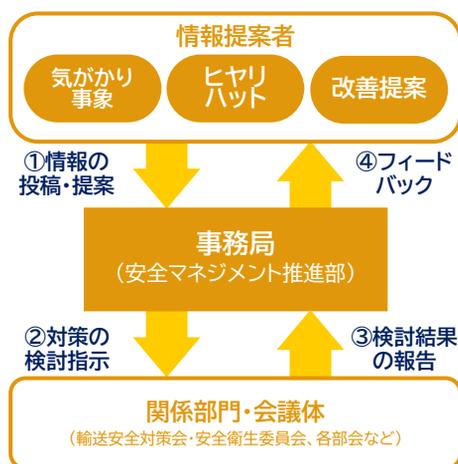
A

ボトムアップ情報の収集・改善

ボトムアップ情報収集は、すべてのキャストを対象に、日々の業務の中における「ヒヤリ・ハット事象」や「改善提案」などを誰でも直接発信できる制度です。

集まった情報は事務局が集約し、その対策について効果的に検討・実行できる関係部門または会議体に検討を指示します。

検討を指示された部門等は、それぞれの会議で対策を検討し、その結果を事務局および提案者へフィードバックします。



安全・安心への投資

安全・安定運行の基盤となる設備投資は積極的に実施しております。
2024年度に実施した主な内容は次のとおりです。

リゾートゲートウェイ・ステーション 施設修繕工事

屋根や外壁の経年対策、法令改正に伴う耐震化対策などを目的として、2024年1月から修繕工事を実施しています。
(2025年度末竣工予定)



出改札システム更新工事

当社では2025年7月以降、二次元コードを使用した乗車券を導入します。
これに対応した自動改札機のリニューアルに先立ち、全駅で自動改札機の通路幅を広げる改修工事を、また一部の駅では自動改札機の増設や配置を変更する工事を、2024年度末に完了しました。
約1.5倍に通路幅が広がったことで、車いすやベビーカーをご利用のゲストをはじめ、あらゆる方へ快適にご利用いただけるようになりました。



ゲスト救出用はしご車の更新

当社が所有するゲスト救出用のはしご車の老朽化に伴い、機能性と操作性の向上を目的に、新型はしご車に更新しました。
(はしご車については、6ページを参照)



当社が所有するゲスト救出用はしご車
(左：旧型、右：新型)

事故等の発生状況

2024年度の事故等の発生状況は、次のとおりです。

鉄道運転事故

鉄道運転事故は、ありませんでした。

鉄道運転事故とは、国土交通省の「鉄道事故等報告規則」(省令)に基づく、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。

インシデント

インシデントは、ありませんでした。

インシデントとは、省令に基づく、事故には至っていないものの運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

輸送障害

輸送障害は、1件発生しました。
ご利用のみなさまには、大変ご迷惑をおかけいたしました。

輸送障害とは、省令に基づく、国土交通省への報告対象となった列車の運休または30分以上の遅れをいいます。

発生日： 2024年4月18日（木）

概要： 20時24分頃に全線で停電が発生。走行中の4列車のうち、2列車が駅間停止しました。
変電設備の異常のないことを確認し、送電を再開。列車側の異常のないことも確認できたため、駅間停止した列車から順次最寄り駅まで移動させ、ご乗車中のゲストに降車いただきました。
その後、線路に異常のないことが確認できたため、22時05分に運転を再開しました。

原因： 直流地絡停電（飛来物によるものと推測）

対策： 停電から復旧までの手順を再確認し、2025年2月の異常時訓練において、本線を使った訓練を実施しました。（7ページを参照）
関係各所への迅速な情報提供方法を見直しました。

安全にご利用いただくために

ディズニーリゾートラインをこれからも安全にご利用いただけるよう、みなさまのご協力をお願いします。

■ ホームや車内では

- 発車ベルが鳴ってからの駆け込み乗車は、ご自身や付近のゲストの思わぬケガのもとになります。次の列車をお待ちください。
- ホームドアや車両のドアに手をつけていると、開く際に、戸袋に手が引き込まれるおそれがあります。小さなお子様をお連れで、ドア近くにお立ちの際は十分にご注意ください。
- 列車の走行中、やむを得ず急ブレーキがかかる場合があります。安全のため、乗車中は座席にお座りになるか、お立ちの場合は近くの手すりやつり革におつかまりください。
- ホームとモノレールの間には約5 cmの隙間がありますが、一部の駅では、若干隙間が広い箇所があります。乗り降りの際は、お足元にご注意いただき、特に小さなお子様をお連れの方は、手をつないでの乗り降りをお願いします。
- 駅や車内で不審な行動や不審なものを見かけた際には、お近くのキャストまでお知らせください。
- 一般的に危険物と呼ばれるもの、他のゲストに危害を加えるおそれのあるものはお持ち込みいただけません。また、保安上の理由により、手回り品の内容を点検させていただく場合がございます。詳しくは、当社のオフィシャルウェブサイトをご確認ください。



非常通話装置

モノレール車内で急病人が発生したり、不安全な行為等を目撃されたりしたときは、各車両に設置されている「非常通話装置」でコンダクターにお知らせください。



非常通話装置

STOPボタン

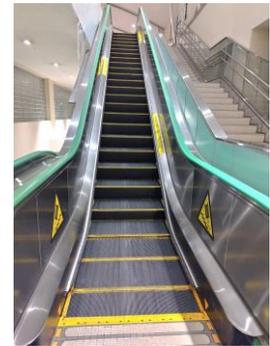
緊急に列車を止めなければならないときは、ホームの中央付近に設置してある「STOPボタン」を押してください。



STOPボタン

■ エスカレーターのご利用について

- エスカレーターをご利用の際は、安全のため、手すりにつかまり、ステップの黄色い線の内側にお立ちください。
- ステップは歩いたり、走ったりせずに、立ち止まってご利用ください。
- ご利用の際は、衣類の裾や靴ひもなどの巻き込まれにご注意ください。
衣類等が巻き込まれたり、転倒事故など、緊急に止める必要がある場合は、乗降口近くにある「非常停止ボタン」を押してください。（その際は、周囲に非常停止することをお知らせください）
- 荷物は落とさないようにしっかりと持ちください。



■ エレベーターのご利用について

- ベビーカーのご使用やキャリーケースなどの大きな荷物をお持ちの際は、エレベーターをご利用ください。
- エレベーター乗り場には、車いすをご利用の方をはじめ、エレベーターを必要とされる方への優先利用にご協力いただけるよう、案内表示の設置を行っています。



■ 車いすやベビーカーをご利用の方へ

車いすやベビーカーをご利用の方にも、モノレールの乗り降りがスムーズにできるよう、固定式スロープを全てのドア位置に設置しています。

また、すべてのゲストのみなさまに安心・快適にご利用いただくため、サービス介助士の資格を持つキャストも在籍するほか、資格取得を積極的に進めています。



■ AED(自動体外式除細動器)について

AED（自動体外式除細動器）は各駅のステーションオフィスに設置しています。緊急時には、お近くのキャストへ声をおかけください。

迅速な対応が行えるよう、キャストが救護活動の手配をします。

※ AED（自動体外式除細動器）とは、心停止となった場合に、救命に役立つ医療機器です。緊急の場合、誰でも使用することができます。





当社のセーフティレポートへのご意見やご感想、安全の取り組みに関するご意見
がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社舞浜リゾートライン
安全マネジメント推進部
TEL:047-305-2407 (平日9:00~16:00)
〒279-8523 千葉県浦安市舞浜2番地18